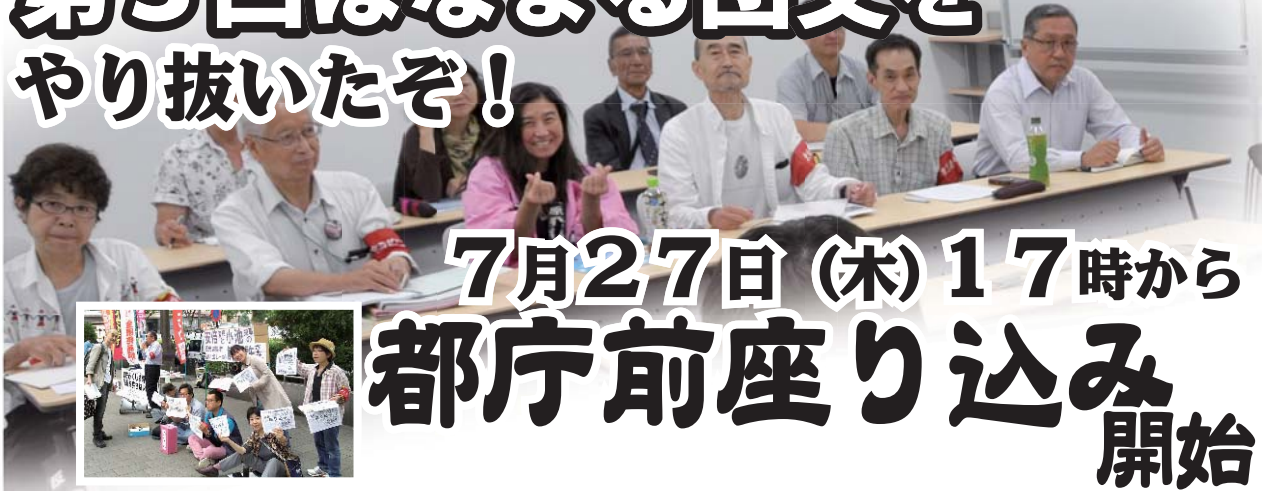




ブログも
好評
更新中!

小池知事は 議事堂レストランの 撤回を 撤回しろ

第3回はなまる団交をやり抜いたぞ!



7月27日(木)17時から
都庁前座り込み開始

7月13日、都庁議事堂レストランを運営しているはなまるうどんとの団体交渉をやり抜きました。

■小池知事は現れず!

私たちはこの団交に小池知事も参加するように要請しましたが、小池知事は現れませんでした。

雇用契約書の不正を徹底追及!

はなまるうどんは、柿沼さんと雇用契約を結んだ際に、2016年9月5日から2016年10月31日の雇用契約書を渡していました。そして柿沼さんは2017年4月まで働いていたのですから、当然契約は自動的に更新されていたわけです。

ところがはなまるうどんは、柿沼さんを不当解雇した後に、2016年9月5日から2017年4月30日までの雇用契約書を出してきたのです。違う内容の契約書を発行したのです。これは明らかに犯罪であり、詐欺行為です。そしてはなまるはこの契約書を理由に、柿沼さんの雇用契約は一度も更新していないので、解雇は「雇止めだ」、「最初の契約を

また逃げちゃった!



まったくあきれた「都民ファースト」です。私たちは小池知事の責任を徹底追及するために団交後に公文書開示請求を行いました。

更新しなかっただけだ」と主張し始めたのです。しかし第1回団交の場で柿沼さんが10月31日までの雇用契約書を示すと、はなまる側の弁護士は大動揺し、「調査する」と繰り返し、二回目の団交では「システムのバグだった」といよいよ加減な説明でごまかそうとし始めました。そして今回の第3回団交ではなまる側は、なんと「調査した結果、議事堂レストランだけでなく、その時期に発行した雇用契約書はみんなそうだった」というさらに驚くべきことを言ったのです。



あなたの契約書は大丈夫?

本当なのか? 「じゃあ何人ぐらいそうになっていたのか?」と聞く。「言えない。いう必要はない」とはなまる弁護士。こんなことが信用できるでしょうか? しかも会社は「会社側が持っている契約書が正だ」と言い張っているのです。まさに詐欺師そのものの詭弁です。

■極端に少ない労働時間契約

しかもはなまるのつくった雇用契約書は「週2日、6時間」と極端に少ない数字になっていたのです。しかし実際には柿沼さんは週4~5日、休憩を入れて1日6時間、すわなち週30時間近く、月130時間を超えて働かされていたのです。しかもはじめの月からこれだけ働いていたにもかかわらず、最初の2か月間、柿沼さんには雇用保険が掛けられておらず、そのために今回の解雇によっても雇用保険を受け取る資格がなくなっているのです。

社会保険をかけないための違法契約ではないのかという私たちの追及に対して、はなまる側はな

んと「2か月連続で月130時間を超える労働をしないと雇用保険に入れない社内規定にしたがっただけだ」と回答。

しかしパートやアルバイトでも週20時間以上の労働をさせた場合に会社は雇用保険を掛ける義務があるのです。

はなまるうどんは公然と違法な社内規定を設定して、社会保険をかけないための契約書を作成し、運用してきたのです。

こんなブラック企業にレストランの運営を許可していた東京都・小池知事の責任は重大です。

■毎回変わる「根拠」

さらに柿沼さんを「雇止め」にした根拠とされている職場でのピラマキや署名集めの実態について、会社側はいつどのように現認したのか、毎回言うことが変わり続けています。「チラシとか新聞のようなものが机の上に置いてあるのを見た」「中身はよくわからない」とあやふやなことを言い。「スポーツ新聞でもダメなのか？」と聞くと「やり方、受け手の問題だ」などといい加減な回答をして、結局は「よく覚えてない」「印象」など

と言いはじめ、とうとう「あやふやなことはありませんね」と認められたのです。そんな「あやふやな」ことで解雇していいのか！

■「店舗は雇止めする気はなかった」

さらに、「4月いっぱいシフトに入れておいて、4月3日に雇止めをするようなことが普通あるのか？」という質問に、はなまるは「店舗は雇止めする気はなかった」と回答したのです。つまり業務上は問題がなかったと店舗側は判断していたことをはなまる側が認めたのです。

店長が解雇するような問題ではないと思っていたのに、上層部がピラマキや署名運動などを理由に政治的な解雇を強行したことがますます明らかとなりました。

■東京都との契約を秘密に

最後にはなまると東京都との契約書がどうなっているのかを質問しましたが、弁護士は必死になんて「回答する必要はない。今回の問題とは関係ない」と回答を拒否しました。「回答しな

い方が不自然で、やましいことがあると思われますよ」という追及には「守秘義務、機密条項がある」とまで言ったのです。ますますあやしい。「あなたたちが解雇を判断した3月31日に小池知事を批判するデモに参加していたのだから。東京都との関係がどうなっていたのかは重大問題でしょ」という追及には、



示し合わせたように全員が「そつそんなデモがあったんですか?!へえー私たちは知りませんよ。知りません」と白々しいウソをくり返していました。こういう一つ一つの態度が、実は彼らが政治的な解雇をしたことを裏付けているのです。



都庁前で抗議行動うちぬく

団交をやりきって、私たちは都庁前に移動して抗議行動を打ち抜きました。たくさんの方が立ち止まって、署名をして、カンパをしてくれました。

●9月4日の都労委調査が決定。座り込み闘争を開始します

小池知事とはなまるを相手にした都労委の調査がついに9月4日に始まります。そこにおいて、私たちは7月27日から毎月第2、第4木曜の午後5時から7時、小池知事弾劾、解雇撤回の座り込み行動を開始することを決定しました！

闘いはこれからです。皆さんの合流をよびかけます。

「日の丸・君が代の強制」と闘う根津先生も応援!



支援する会に入ってください!

個人会費は月500円、団体会費は月1000円です。カンパも自由に振り込んでください。
郵便振替口座 00180-5-696858
加入者名「都庁ふくしま署名解雇を許さない会」
通信欄に会費かカンパか、会費の場合何口で何か月分かを記入してください。署名用紙はブログから。

